

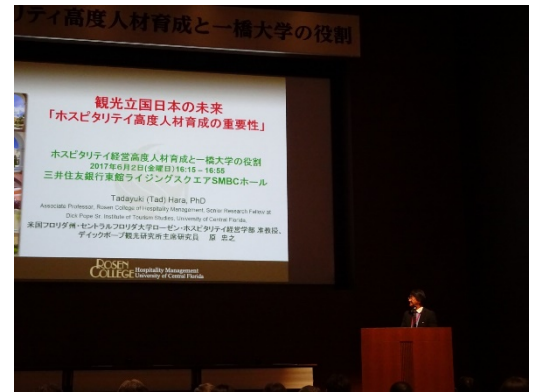


## 一橋大学ホスピタリティ・マネジメント・プログラム

### 「ホスピタリティ高度人材育成と一橋大学の役割」開催報告

2017年6月2日(金)SMBCホールにおいて、一橋大学ホスピタリティ・マネジメント・プログラム講演会・パネルディスカッションを開催いたしました。150名を超える皆様にご出席いただき、心より感謝申し上げます。開会に先立ち、蜂谷豊彦商学研究科長より開会挨拶を申し上げます。また、田村明比古観光庁長官にご臨席賜り、来賓ご挨拶をいただきました。

基調講演は、原忠之氏(セントラルフロリダ大学准教授、本学商学研究科特任教授)に「ホスピタリティ高度人材育成の重要性」をテーマにご講演いただきました。米国フロリダ州オーランドの事例、今後のわが国におけるホスピタリティ産業での高度人材育成の必要性、そのための高等教育機関としての大学の役割についてお話があり、ホスピタリティ産業の高度人材育成が重要かつ喫緊の課題であることを認識するよい機会となりました。基調講演資料は[こちらからダウンロード](#)いただけます(6月9日までです)。



パネルディスカッションは、パネリストに観光庁参事官 黒須卓氏、日本航空株式会社常務執行役員 西尾忠男氏、株式会社ジェイティービー執行役員 人事部長 花坂隆之氏、セントラルフロリダ大学准教授・本学商学研究科特任教授 原忠之氏をお迎えし、山内弘隆商学研究科教授(ホスピタリティ・マネジメント高度人材開発センター長)のコーディネートにより行いました。第1部として、黒須氏より「観光産業における人材育成の取組」についてご説明をいただいた後、山内教授

より本学ホスピタリティ・マネジメント・プログラムの概要を説明いたしました。第2部では、産業界のお考えについて、花坂氏、西尾氏からそれぞれご意見をいただきました。また基調講演を踏まえ、原氏に総括していただきました。高度人材とはどのような人材なのか、高度人材育成により国や企業はどう変わるのか、大学の顧客は学生ではなく産業界であることなど、活発な議論が展開されました。基調講演に続き、ホスピタリティ産業において高度経営人材の育成が喫緊の課題であることを、改めて認識しました。



以上



◆プログラム概要

基調講演

原 忠之(セントラルフロリダ大学准教授、一橋大学大学院商学研究科特任教授)  
「ホスピタリティ高度人材育成の重要性」

パネルディスカッション

第Ⅰ部 基調報告

黒須 卓(観光庁参事官)

「観光産業における人材育成の取組」

山内弘隆(一橋大学大学院商学研究科教授、ホスピタリティ・マネジメント高度人材開発センター長)

「一橋大学ホスピタリティ・マネジメント・プログラムの概要」

第Ⅱ部 ディスカッション

パネリスト

黒須 卓(観光庁参事官)

西尾忠男(日本航空株式会社 常務執行役員)

花坂隆之(株式会社ジェイティービー 執行役員人事部長)

原 忠之(セントラルフロリダ大学准教授、一橋大学大学院商学研究科特任教授)

コーディネーター

山内弘隆(一橋大学大学院商学研究科教授、ホスピタリティ・マネジメント高度人材開発センター長)